第２章　瀬戸内市の歴史文化資源の概要

１．指定等文化財の概要

本市の指定等文化財は、国指定が 20 件、国登録文化財が 17 件、国選定保存技術が 1 件あります。また、岡山県指定が 38 件、瀬戸内市指定が 70 件となっています。（令和 4 年 7 月現在）

表 7　瀬戸内市の指定等文化財

文化財の種別	国指定等	国登録等	県指定	市指定	合計
有形文化財	17 件	17 件	23 件	38 件	95 件
建造物	4 件	17 件	6 件	13 件	40 件
絵画	3 件	0 件	1 件	6 件	10 件
彫刻	5 件	0 件	4 件	10 件	19 件
石造物	0 件	0 件	0 件	3 件	3 件
工芸品	5 件	0 件	10 件	4 件	19 件
古文書	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件
考古資料	0 件	0 件	0 件	2 件	2 件
歴史資料	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件
無形文化財	0 件	0 件	4 件	0 件	4 件
工芸技術等	0 件	0 件	4 件	0 件	4 件
民俗文化財	0 件	0 件	8 件	20 件	28 件
有形の民俗文化財	0 件	0 件	4 件	17 件	21 件
無形の民俗文化財	0 件	0 件	4 件	3 件	7 件
記念物	3 件	0 件	4 件	12 件	19 件
史跡/遺跡	3 件	0 件	4 件	9 件	16 件
名勝地	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
動物	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
植物	0 件	0 件	0 件	2 件	2 件
地質鉱物	0 件	0 件	0 件	1 件	1 件
文化的景観	0 件	0 件	－	－	0 件
伝統的建造物群	0 件	0 件	－	－	0 件
文化財の保存技術	0 件	1 件	0 件	0 件	1 件
合　計	20 件	18 件	39 件	70 件	146 件

※本資料については、国指定等に「国宝」1 件含んでいます。

種類・分類をみると、有形文化財が 95 件と最も多く、うち約 4 割（40 件）を建造物が、約２割（各 19 件）を彫刻と工芸品が占めます。これらの多くは、牛窓地域の寺社に関係しており、古代から現代まで港町として栄えていたことで多くの財を成した人々により保存継承されていたことによるものと思われます。

○有形文化財

国、県、市指定あわせて、建造物が 40 件、絵画が 10 件、彫刻が 19 件、石造物が３件、工芸品が 19 件、古文書が 1 件、考古資料が２件、歴史資料が 1 件、指定文化財等となっています。

建造物では、本蓮寺関連の建造物３件と、餘慶寺本堂の４件が室町時代の建造物であり、その他は江戸時代以降の建造物です。国登録有形文化財は、明治時代以降の建造物で、長島愛生園、邑久光明園、備中屋高祖酒造関連が大半を占めます。

絵画は、鎌倉時代から江戸時代のもので、宝光寺や遍明院が管理しているものが多くなっています。

彫刻と石造物は、平安時代から江戸時代のものとなっており、若宮八幡宮の石燈籠を除き寺院所有の仏像です。

工芸品は、平安時代から明治時代のもので、刀剣関連や備前焼、虫明焼のものが大部分を占めます。

古文書は、これまで弘法寺の足利尊氏御教書のみが県指定文化財となっていましたが、浦上氏や宇喜多氏等の戦国武将からの文書、池田光政以降の岡山藩からの文書など鎌倉時代から明治初年にかけての文書の 134 通が追加され、令和３年（2021）に「弘法寺文書」として一括指定されました。

考古資料は、広高八幡宮の文字瓦と遍明院の菊花双雀鏡（きっかそうじゃくきょう）の２点が指定されています。

歴史資料は、朝鮮通信使関係資料漢詩９幅が指定されており、これらは、平成 29 年（2017）に認定されたユネスコ「世界の記憶」にも登録されています。

○無形文化財

備前焼製作技術の保持者が２件、虫明焼製作技術の保持者が 1 件、指定文化財となっています。

○民俗文化財

有形民俗文化財が 21 件、無形民俗文化財が７件となっています。

有形民俗文化財では、牛窓地域にある牛窓だんじりの８基が一括指定されているほか、邑久町のだんじりが10基、長船地域のだんじりが２基指定されるなど、だんじりが大部分を占めます。

無形民俗文化財では、弘法寺踟供養、唐子踊、太刀踊、粟利郷（あわりごう）太刀踊、卜祭（筒粥神事）、如法経法会（投げ銭供養）の祭礼関連の行事と、行事食のししこまが指定されています。

○記念物

史跡が 16 件、植物が２件、地質鉱物が 1 件となっています。

史跡では、弥生時代から飛鳥時代までの門田貝塚、寒風古窯跡群、築山古墳、鹿歩山古墳などが指定されています。

天然記念物では、牛窓断層帯地層群、妙興寺大イチョウ、美和神社ヤマモモが指定されています。

○文化財の保存技術

日本刀製作やたたら製鉄に用いられる松炭・雑炭及び漆器・金属の研磨に用いられる研磨炭を生産する木炭製造技術が選定されています。

2．指定等文化財以外の歴史文化資源の概要

本市には、指定等文化財のほか未指定文化財を含め、多くの歴史文化資源があります。市内の文献から抽出した本市の文化財の件数は下記の通りです。

表 8　文化財体系別にみた瀬戸内市の歴史文化資源

文化財の種別	牛窓地域	邑久地域	長船地域	合計
有形文化財	141 件	625 件	140 件	906 件
建造物	93 件	490 件	127 件	710 件
絵画	16 件	62 件	1 件	79 件
彫刻	17 件	18 件	1 件	36 件
工芸	9 件	20 件	10 件	39 件
書跡・典籍	3 件	0 件	0 件	3 件
古文書	1 件	15 件	0 件	16 件
考古資料	1 件	0 件	0 件	1 件
歴史資料	1 件	20 件	1 件	22 件
無形文化財	0 件	3 件	1 件	4 件
演劇	0 件	2 件	0 件	2 件
音楽	0 件	0 件	0 件	0 件
工芸技術等	0 件	1 件	1 件	2 件
民俗文化財	51 件	47 件	77 件	175 件
有形の民俗文化財	21 件	14 件	3 件	38 件
無形の民俗文化財	30 件	33 件	74 件	137 件
記念物	91 件	147 件	71 件	309 件
遺跡／史跡	87 件	131 件	68 件	286 件
名勝地	0 件	9 件	0 件	9 件
動物	0 件	0 件	0 件	0 件
植物	3 件	7 件	3 件	13 件
地質鉱物	1 件	0 件	0 件	1 件
文化的景観	0 件	2 件	0 件	2 件
伝統的建造物群	1 件	0 件	1 件	2 件
埋蔵文化財	246 件	452 件	283 件	981 件
その他	59 件	22 件	7 件	88 件
伝承・伝説	27 件	13 件	1 件	41 件
食	26 件	5 件	4 件	35 件
地名	6 件	2 件	2 件	10 件
その他	0 件	2 件	0 件	2 件
合　計	589 件	1,298 件	580 件	2,467 件

※本資料については、国指定等 20 件、国登録等 18 件、岡山県指定 38 件、瀬戸内市指定 70 件を含んでいます。未指定文化財については、本市の文化財（指定・未指定に拘わらない）が掲載される既刊の文献、調査報告書等 48 件から抽出を行いました。
※未指定文化財の文化財種別については、文献から文化財の概要を調査し分類を行ったため参考値です。

文献等より把握した本市の歴史文化資源は、令和 4 年 7 月末時点で 2,467 件に上ります。

六類型では有形文化財が 906 件と最も多く、うち約 8 割（710 件）を建造物が占めます。

本市には、海や山や田園などの自然環境が育んできた景観や生業、伝統技術、祭礼、食文化など、人々の暮らしと深く関わり、地域の特徴を形成する重要な要素となる歴史文化資源が数多くあります。

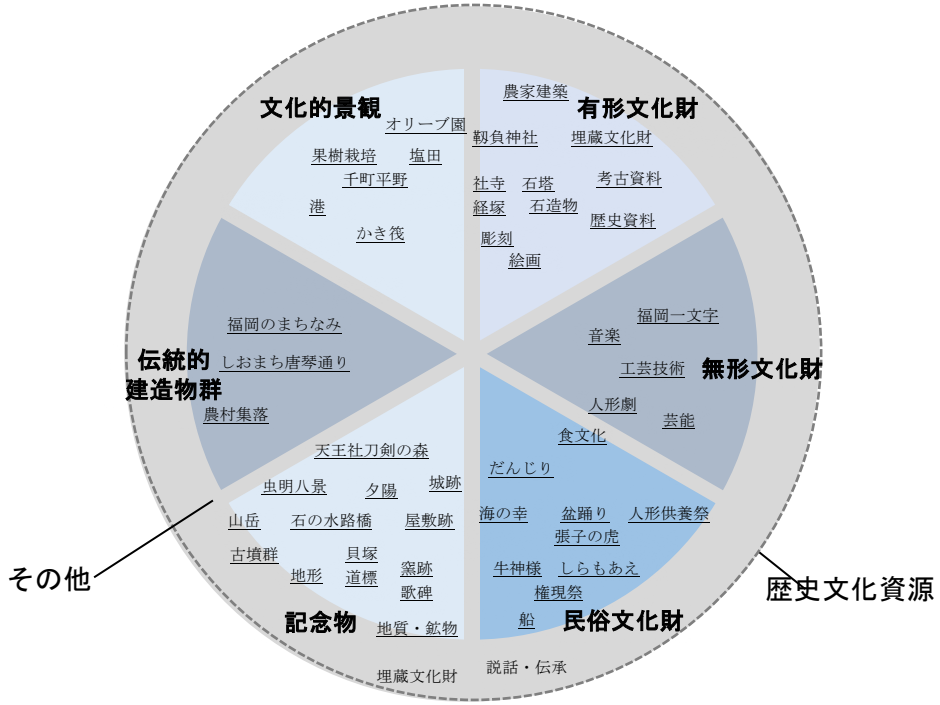


図 27　文化財体系別にみた瀬戸内市の歴史文化資源

○有形文化財

把握されている建造物は、その大半が近世から近代にかけて建築された寺社仏閣や民家となっています。牛窓地域では、港町の隆盛を物語る文化財が複数あり、長船では、靭負神社をはじめ刀剣に関連する文化財が複数ある等、地域によって特徴が出ています。また、大師堂巡りに関連する文化財が市域全域に見られます。

○無形文化財

刀剣製作技術、虫明焼や備前焼等の焼き物づくりの技術、糸繰り人形劇などがあります。

○民俗文化財

各地域の寺社等で行われる祭りが受け継がれ、祭礼に関連するだんじりなどの祭礼道具や信仰対象など有形の民俗文化財も残されています。しらもあえなどの郷土料理も受け継がれています。

○記念物

埋蔵文化財以外の把握されている記念物は、中世以降では、城跡、屋敷跡、墓石や虫明八景に代表される景勝地があります。

○伝統的建造物群

牛窓では港町の歴史を物語る建物が点在するしおまち唐琴通り、長船では商業都市としての繁栄を物語る福岡の町並みなどが残っており、各地域の歴史が町並みに今も色濃く残っています。

○文化的景観

虫明湾のかき筏、千町平野や長船平野の稲作、丘陵部の畑作など自然を活かした生業を語る文化的景観を今も見ることができます。

○埋蔵文化財

本市には現在、981 件の埋蔵文化財包蔵地が登録されており、そのうち約半数が古墳、約 1 割を窯跡が占めています。

○文化財保護法の定義に当てはまらないもの

文化財保護法の定義に当てはまらないが、地域の個性を伝えるものとして食文化や伝承・地名などがあります。

3．歴史的概要

（1）原始（旧石器・縄文・弥生）

【人々の営みの開始】

瀬戸内市には、原始より集落が形成され、人々の営みが開始された軌跡が多く残っています。旧石器時代の石器が黒島貝塚や広高山遺跡などから出土していることから、この時期には市内で人々が生活していたことが窺えます。邑久町豊原には縄文時代前半から後期まで集落があった周辺に大橋貝塚があります。そこからは、シジミやカキ、ハイガイなどたくさんの貝殻が見つかっており、原始より恵まれた海産物が食べられていた形跡を見ることができます。

邑久町尾張にある門田貝塚からは、弥生土器や石包丁など、弥生時代に使われた多くの生活用品が出土しています。

「歴史文化資源」
門田貝塚（国，史跡）、黄島貝塚（市，史跡）、大橋貝塚（市，史跡）、黒島貝塚、広高山遺跡

門田貝塚史跡公園

門田貝塚の断面
（瀬戸内市民図書館）

黄島貝塚

（2）古代（古墳・飛鳥・奈良・平安）

【海と土に育まれた製塩・鍛冶・窯業などの生業】

自然環境に恵まれた瀬戸内市では、様々な生業が行われてきました。錦海湾周辺では弥生時代から土器製塩が行われていました。また、長船周辺には、砂鉄の採取場所であったことをうかがわせる小字名が残っています。さらに、服部廃寺で鎌倉時代前半の鍛冶炉や、長船西遺跡で平安時代末の鍛冶関係の遺物、江戸時代の遺構が確認されています。

長船地域では「須恵」といった地名が残っており、邑久町本庄や牛窓町長浜にも須恵器生産地がありました。邑久古窯跡群は、古墳時代から平安時代末期にわたり操業を続けた、中国・四国地方で最大の須恵器窯跡群です。

「歴史文化資源」
寒風古窯跡群（国，史跡）、亀ヶ原 1 号窯跡（市，史跡）、師楽遺跡、木鍋山 1 号窯跡、青木 1 号窯跡、邑久古窯跡群

寒風古窯跡群

亀ヶ原 1 号窯跡

須恵器

【中央とのつながりや外交による発展】

古来から集落が形成されてきた瀬戸内市では、吉備海部直（きびのあまのあたい）一族のような大和朝廷ともつながりがあった豪族が台頭します。吉備海部直一族は、朝鮮半島との関わりが深く、情報・文化・もの・技術などに接する機会は多く、それらが牛窓地域にもたらされていたことは十分に考えられます。

長船地域には、築山古墳、花光寺（けこうじ）山古墳等の前方後円墳があり、牛窓地域には、牛窓天神山古墳、黒島 1 号墳、鹿歩山（かぶやま）古墳等の前方後円墳があります。墳長 80ｍを超えている古墳の規模からも、製塩や須恵器生産、海の支配・交易などで富を得ていたと考えられます。

「歴史文化資源」
花光寺山古墳（県，史跡）、築山古墳（県，史跡）、鹿歩山古墳（県，史跡）、二塚山古墳（県，史跡）、牛窓天神山古墳（市，史跡）、黒島 1 号墳

花光寺山古墳

築山古墳

牛窓天神山古墳

【古代寺院の建設と仏教文化】

奈良時代に入ると、長船地域や邑久地域に服部廃寺、須恵廃寺のような古代寺院が建設されました。これらの古代寺院跡から、市内における仏教の浸透が深かったことがうかがえます。

平安時代に入ると、全国で天皇家や貴族によって荘園が形成されました。瀬戸内市でも吉井川により沖積された肥沃な大地、瀬戸内海の海洋資源、丘陵地の森林資源を目的に、豊原庄・福岡庄・裳懸庄などが設置され、市内の集落の開発が進みました。

平安時代の仏教文化の特徴を持つ餘慶寺の薬師如来坐像や遍明院の五智如来坐像は、人々の信仰を集めました。

「歴史文化資源」
木造薬師如来坐像（国，彫刻，餘慶寺）、木造五智如来坐像（五躯）（国，彫刻，遍明院）、木造阿弥陀如来立像（附像内納入文書）（国，彫刻，東寿院）、弘法寺練供養（県，無形民俗文化財）、須恵廃寺、服部廃寺

服部廃寺跡

弘法寺遍明院・五智如来坐像

餘慶寺・薬師如来坐像

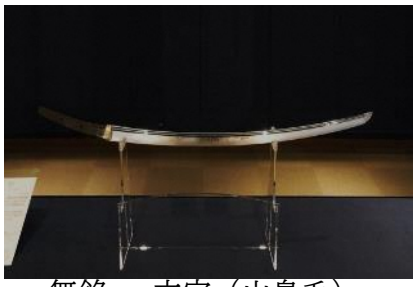
（3）中世（鎌倉・室町・安土桃山）

【西日本屈指の都市「備前福岡」】

鎌倉時代以降、長船地区や福岡地区を中心に、刀剣の生産が盛んに行われてきました。現在、国宝や重要文化財に指定されている刀剣の約４割が備前刀となっています。長船地域には、鞆負（ゆきえ）神社や慈眼院等の刀剣関連社寺があり、刀剣の生産地であったことを伝える犬養木堂筆の造剣之古跡碑もあります。

吉井川沿いで山陽道の要衝にあり、水陸の交通の便に恵まれ、鍛刀によって栄えた福岡地区では、鎌倉時代以降、大きな市が開かれたり、備前守護所が置かれたりするなど、有力な商都となりました。

「歴史文化資源」
太刀 無銘一文字(山鳥毛)（国，工芸品)、大薙刀銘盛光(附黒漆柄薙刀拵)（国，工芸品，遍明院)、弘法寺文書（県，古文書)、備前福岡の市、備前刀、鞆負神社、慈眼院、妙興寺、福岡城跡、福岡の市跡碑


無銘 一文字（山鳥毛）

備前福岡の市跡碑

造剣之古跡碑

【築城と戦による動乱】

鎌倉時代以降には、武士が台頭しました。備前における応仁の乱の影響は、文明期(1469-1487)に、赤松・浦上方と山名・松田方との間で行われた福岡城をめぐる一連の戦いである福岡合戦にあらわれます。

長船町磯上には、室町時代の豪族島村氏の城館であったと考えられている堀城跡があり、土塁や堀などの遺構が良好に残っています。

邑久町豊原には戦国時代の武将宇喜多氏の居城であった砥石城跡があり、他にも市内各所に城跡を見ることができます。

「歴史文化資源」
砥石城跡（市，史跡)、堀城跡、尾張城跡、高取山城跡、宇喜多興家墓所、宇喜多一門供養塔

砥石城跡

堀城跡

宇喜多興家墓所

（４）近世（江戸）

【朝鮮通信使の寄港地「港町牛窓」】

牛窓町牛窓は、古来より良港として栄え、中世には海運で大きな経済力をもちました。菅原道真、平清盛、足利義満、豊臣秀吉等の著名人が立ち寄ったほか、近世では、朝鮮通信使の寄港地となり、唐子踊のような無形民俗文化財等が通信使との関係を今に伝えています。本堂などの多くの文化財が残る本蓮寺には、通信使の書が伝わり、平成 29 年（2017）に世界記憶遺産に登録されています。

港として栄えた牛窓地域に残されている牛窓だんじりには、宮大工や船大工の技術が活かされており、現在でも牛窓神社の秋祭りに用いられています。

「歴史文化資源」
本蓮寺本堂ほか（国，建造物）、唐子踊（県，無形民俗文化財）、牛窓だんじり（県，有形民俗文化財）、若宮八幡宮の欧風絵馬（県，絵画）、尻海だんじり（３基）（市、有形民俗文化財）、牛窓海遊文化館（国登，有形）、

唐子踊（疫神社）

牛窓だんじり（沖だんじり）

朝鮮通信使遺跡牛窓本蓮寺境内

【岡山藩伊木家による統治】

伊木家は岡山藩筆頭家老であり、邑久郡内などに領地を与えられ、虫明に陣屋(お茶屋)を構えていました。邑久町虫明は、岡山藩の東の玄関口にあたり、陣屋跡のほか、当時の武家屋敷町の佇まいを残す町並み、伊木家の墓所、伊木家の菩提寺で歴代当主の位牌や第８代当主忠福（ただとみ）の木像がある興禅寺があります。周辺には、第４代当主忠親（ただちか）が選定した虫明八景と呼ばれる美しい風景が広がっています。また、第 14 代当主忠澄（ただずみ）（三猿斎（さんえんさい））によって京焼の技術が虫明焼に取り入れられ、作風が変化しました。現在でも虫明焼の窯元が存在し、茶道関係者を中心に多くの方に愛用されています。

また、虫明や長島に残されている伊木家の歴代当主の墓石は、瀬戸内の島から切り出された花崗岩で作られており、今でも、良好にその形をとどめています。

「歴史文化資源」
伊木氏墓碑(3 代～13 代)（市，史跡）、虫明焼(67 種 96 点)（市，工芸品）、伊木氏陣屋跡、興禅寺

伊木氏墓碑（第 3 代～第 13 代）

虫明焼

伊木氏茶屋跡碑

（５）近代（明治・大正・昭和戦前）

【瀬戸内市で育った文化人】

邑久町本庄は、大正時代の画家で詩人でもある竹久夢二が生まれ、15 歳まで暮らしたところです。夢二の生家は、作品を展示する記念館になっており、近くには、夢二が晩年に自ら設計したアトリエ兼自宅であった少年山荘も復元されています。

ほかには、竹久夢二の幼なじみで、若山牧水らと共に、明治から大正にかけて詩人として活躍した正富汪洋（まさとみおうよう）の詩碑や、明治から昭和にかけて書家、教育者として活躍し、学校書道の振興に尽力した大原桂南（おおはらけいなん）が書いた石碑が存在しています。

「歴史文化資源」
少年山荘、竹久夢二生家記念館、正富汪洋詩碑、大原桂南書の石碑

少年山荘

正富汪洋詩碑

大原桂南書の石碑

【隔離の歴史を今に伝える長島愛生園】

長島愛生園は昭和 5 年（1930）に日本初の国立ハンセン病療養所として、邑久光明園は室戸台風により大きな被害を受けた大阪市内の第 3 区府県立外島保養院が昭和 13 年（1938）に再興される形で、邑久町虫明の長島に開設され、今日に至ります。

島内の建造物群や史資料群は隔離政策や入所者の生活を伝え、長島愛生園歴史館では、ハンセン病問題の展示、解説が行われ、その歴史を学ぶことができます。

「歴史文化資源」
長島愛生園旧事務本館（国登，有形）、邑久光明園恩賜会館（国登，有形）、長島愛生園所蔵史資料群

長島愛生園（旧事務本館）

邑久光明園（恩賜会館）

長島愛生園（園内通用票）

（6）現代（昭和戦後・平成）

【喜之助人形】

邑久町尾張出身の竹田喜之助は、戦前の素朴なあやつり人形に機械工学の知識と技術を導入する一方、人形美術としても評価の高い「喜之助人形」と呼ばれる糸繰り人形を完成させました。日本の人形劇界では不世出の職人・技術者ではないかと言われています。市内では、複数の人形劇団が活動しており、喜之助糸操り人形劇の技術を継承しています。

「歴史文化資源」 喜之助人形、糸繰り人形劇

糸繰り人形劇

喜之助人形

【交通の発展、整備による観光地化】

戦後になると、本市でも交通整備や開発が進みました。昭和 37 年（1962）には JR 赤穂線が全線開通、昭和 52 年（1977）には岡山ブルーハイウェイ（現岡山ブルーライン）が開通し、より多くの人が瀬戸内市に訪れる環境が整いました。昭和 63 年（1988）には邑久長島大橋が完成しています。

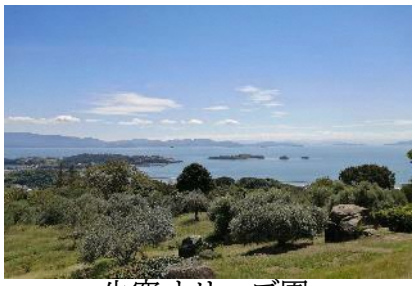
昭和 60 年（1985）には寒風陶芸会館、平成 10 年（1988）には長船美しい森、平成 16 年（2004）には備前おさふね刀剣の里がオープンする等、瀬戸内市の豊かな自然や歴史について楽しむことができる施設の開業や整備も進んできました。

また、牛窓地域では昭和 39 年（1964）に牛窓町と阪神電鉄との間で観光開発協定が結ばれたことを契機に、リゾート開発が進められました。昭和 51 年（1976）にはギリシャのミティリニ市と姉妹都市縁組みを結び、牛窓オリーブ園と瀬戸内海の多島美を「日本のエーゲ海」として売り出しています。さらに、平成 3 年（1991）には県営牛窓ヨットハーバーやマリンリゾートホテルなどの誘致を行いました。

寒風陶芸会館、長船美しい森、備前おさふね刀剣の里、牛窓オリーブ園、牛窓ヨットハーバー

寒風陶芸会館

備前おさふね刀剣の里



牛窓オリーブ園